

外濱 津輕 秋田 下紐關シタヒモノ 狹細布キヤウホツヌ 音無瀧 ウトウヤスカタ 金花山といふは、仙臺より東のかた海中に有島山也、

王江、蘆 武隈、松 名取川と云は、仙臺のうちには有川也、

袖の湊シナ 昔山 葉那波松ヘナハツ 細江山

〔奥羽觀蹟聞老志〕奥羽名區異同考

歌枕名寄東山部陸奥

陸奥山 金山 深津島山 安積山石里 會津山嶺關 信夫山岡原 安太多良嶺 安達

原野 松山末之 栗駒山 奈古曾山關 二方山 不忘山 白河關 衣關河 憚關 下紐

關 宮城野原 眞野萱原 市師原 山榴岡 片戀岡杜 荒野牧 武隈 阿武隈河 稻葉

渡 名取河郡里 玉川里 野田玉川 玉造江河 袖渡 緒絶橋 戸綱橋 朽木橋 小河

橋 面和久橋 栗原姉場 阿古耶松 標葉堺 壺石文碑 狹布 淺香瀉 素都濱 十符

浦 興井都島 小黒國小美豆 多湖浦島 松島浦橋 小島 松浦島 血鹿鹽竈或千 浮島

籬島 凡五十有三區略

〔袖中抄十九〕いしぶみ

いしぶみやけふのせばぬのはつく／＼にあひみてもなをあかぬけさかな

顯昭云、いしぶみとは陸奥のをくにつものいしぶみあり、日本のはてといへり、但田村將軍征夷之時、弓のはずにて石の面に、日本の中央のよしかきつけたれば、石文といふといへり、信家侍從の申しは、石の面ながさ四五丈許なるに、文廻りつけたり、そのところをばつぼと云々、それをつもとはいふ也、私云、みちのくには、東のはてと思へど、各その島はおほくて、千島ともいふは、陸地をいはんに、日本の中央にても侍にこそ、